

高齢者が安心して暮らせる支え合う地域の姿とは… アンケート集計結果

～ 笛吹市生活支援体制整備事業 支え合う地域づくり石和 普及啓発学習会～

参加者数 173 名のうち、アンケート回答者数 134 名 回答率 77%

考察

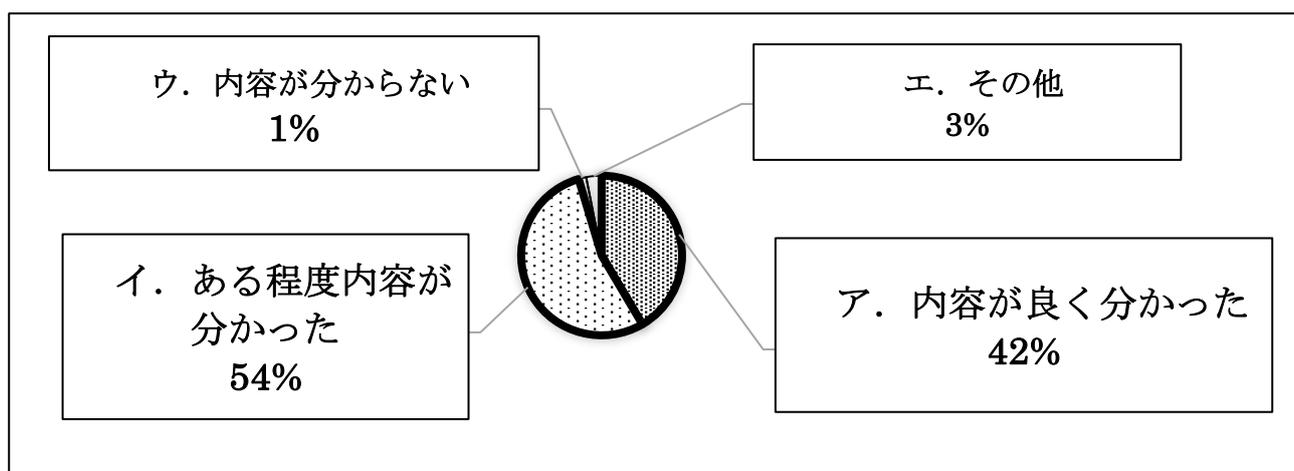
- ・生活支援体制整備事業の概要説明と支え合う地域づくり石和の取り組みとして、サロンを開催している実践者の報告を交えた普及啓発の学習会を開催した。
- ・アンケート結果から、生活支援体制整備事業の概要とサロンの様子について理解を得ることができた。(問1. 問2.)
- ・今後、お住まいの地域で、サロンを開催したい、支援があれば開催できるかもという回答は、50%に満たなかったため、すぐに町内にサロン活動が広がっていくことは難しいと思われる。

この結果は、問1. のエ. その他のコメント下線のように、何故サロンの取り組みが必要なのか、説明が足りなかったことが原因の一つと思われる。また、問3. のエ. その他の下線や自由記載の下線など、担い手となる人材不足等が原因も考えられる。

⇒今後の取り組みとして、地域の担い手不足を解消するための、老人クラブの活性化や地域の福祉施設や商業・観光施設等も含めた施設や人材も巻き込んだ地域全体の支え合う地域づくりの具体的な検討を行って行くことが必要である。

問1. 生活支援体制整備事業の概要説明と支え合う地域づくり石和の取り組みについて

⇒内容がよくわかった、ある程度内容が分ったと回答した方が 96%だった。

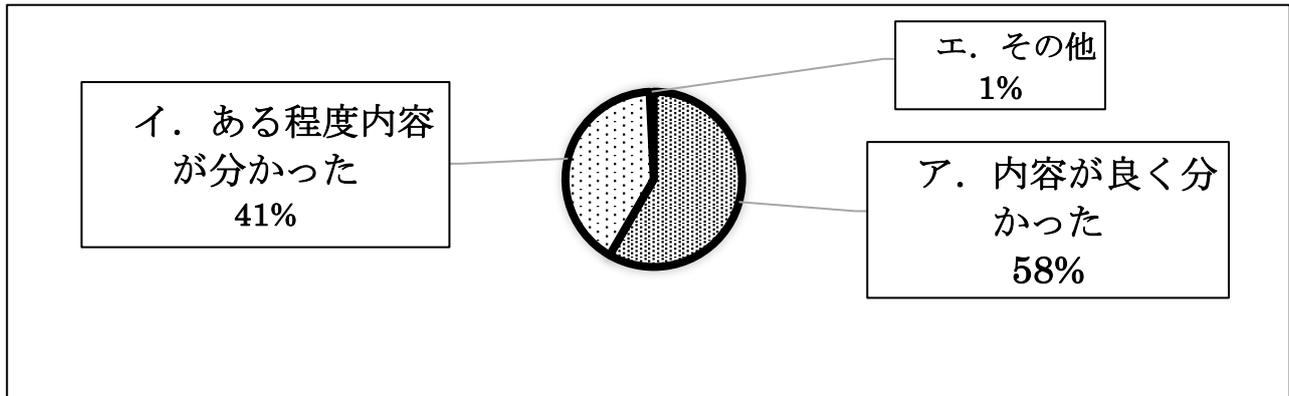


エ. その他 3%のコメント

- ・区全体というイメージが広がってしまうとちょっと違う感じがします。
- ・たぶん分からないと思う。国や市、法律のことではなく、何故サロンのような取り組みが求められるのかを教えてほしかった。
- ・もう少し説明が必要と感じた。
- ・サロン自体、初めて聴きその点では意味があったと思う。

問2. 石和町内の素敵なサロン紹介について

⇒内容がよくわかった、ある程度内容がよくわかったと回答した方が99%だった。

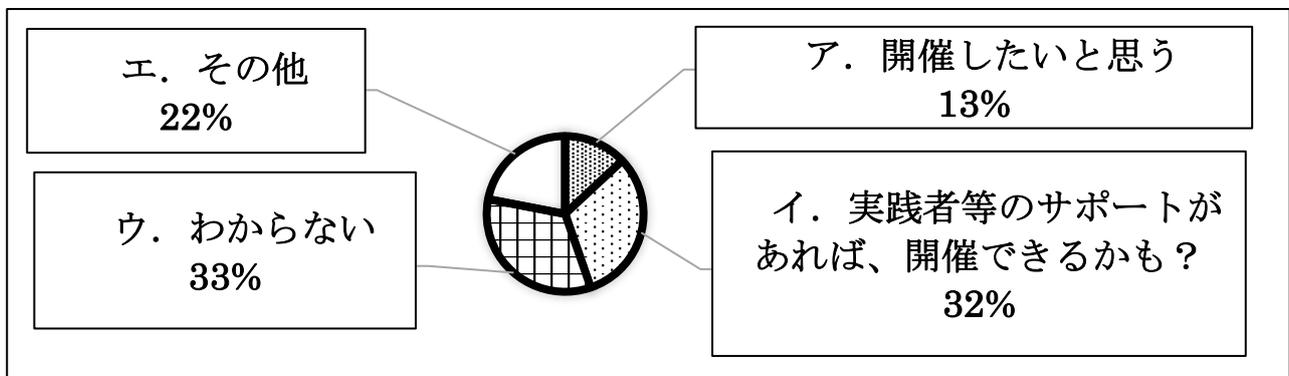


エ. その他 1%のコメント

- ・立ち上げ運営について、もう少し不明

問3. あなたがお住まいの地域でも、サロンを開催したいと思いませんか？

⇒開催したいと思う13%、実践者等のサポートがあれば開催できるかも32%、合わせて45%で、50%までには届かなかった。分らないと回答した方が33%と最も多かった。



エ. その他 22%のコメント

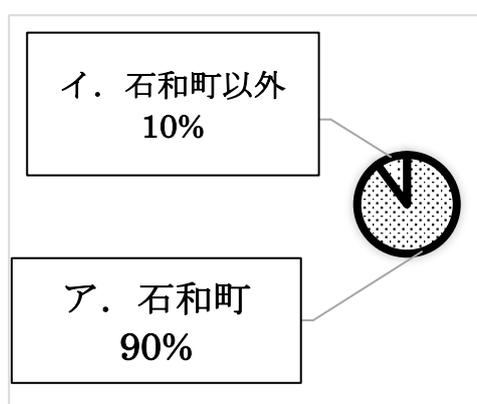
- ・開催している（8件）
- ・難しい面がある。老人クラブと地区（3役）との体制づくり（関係）が希薄
- ・どこから、誰から、何からが、難しい気がする。
- ・退職したらやってみたい。
- ・やってみるじゃん（介護予防事業）月1回しています。
- ・予算の問題、人の問題の検討が必要
- ・区としての取り組みは難しいと感じている。
- ・開催したい地区に支援したいと思います。
- ・したくない。
- ・理想な活動とは思いますが、私の地区での開催は不可能だと感じました。
- ・自分では分からない。
- ・サロンをさらに地域に定着させたい。

- ・協力はしても良い。
- ・協力させていただきたい。
- ・もっと充実したい。
- ・私もできることがあれば協力します。

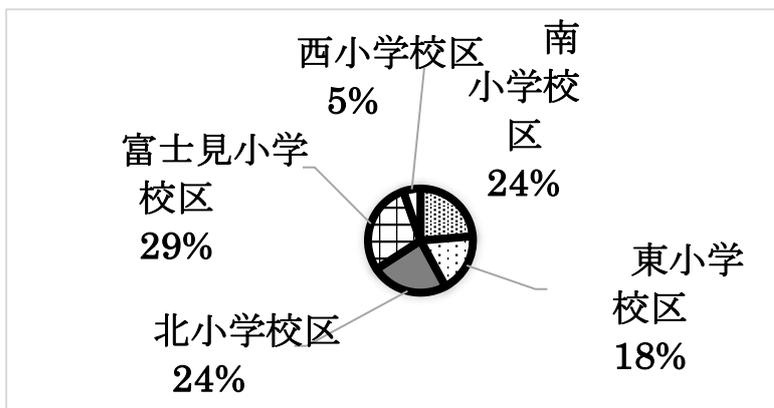
問 4. あなたのお住まいの地域と所属を教えてください。(石和町内の方は、小学校区にも○印をお願いします)

⇒石和町内の方が 90%、区役員の方が 58%、地域福祉に関心がる方(住民・行政・社協) 33%、全体で 91%であった。また小学校区別では、全ての小学校区から参加があった。

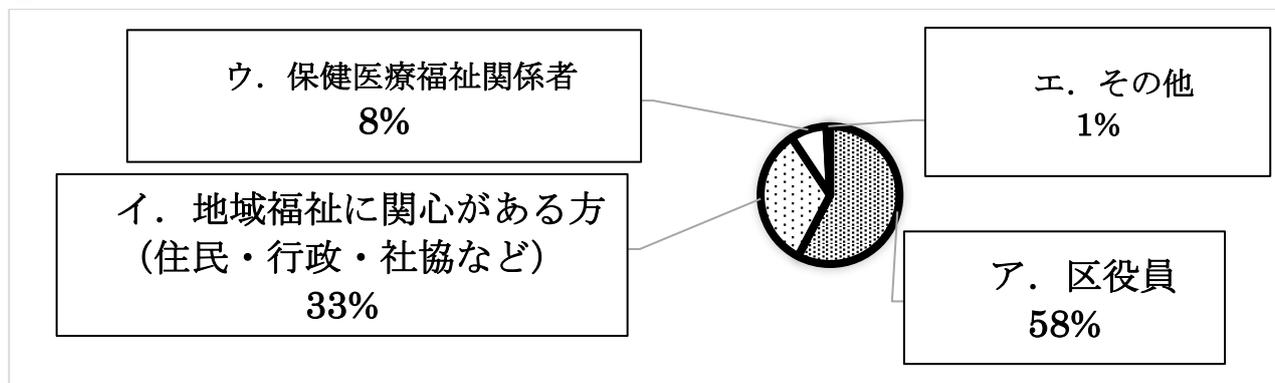
① お住まいの地域



小学校区の回答者比率



② 所属



エ. その他 1%

*エ. その他は、選択肢になかったが、その他の項目を追加して回答あり。

問 5. 自由記載：支え合う地域づくり石和では、サロン活動を推進しています。

今夜の感想、サロン活動の課題・提案、何気ない支え合い活動、高齢者の困りごとなど教えてください。

区役員

・石和町でもこんなにサロン活動が活発にされていることを知りました。まだまだ活動がされていない地区も有るようですので、ご指導をお願いします。(東小)

・参加者が多く関心の高さが感じられます。取り組んでいる4地区の大変分かりやすい説明は、これから具体的に立ち上げようとしている地区の方々に参考になると思います。各地区で特色ある取り組みを工夫し、活動が盛り上がり、高齢者が安心して暮らせる地域作りが出来ることを望みます。(東小・民生委員児童委員)

・サロンの歴史を知りたい(北小・民生委員児童委員)

・笛吹市合併前、石和町時代は、体育祭運動会があったことで、町民のふれあいができた。気軽に行えるようなことからサロンを始めるに至ったのか？今の時代は、引きこもり対策として、何か行動が必要に感じる。(北小)

・他の地域のサロンを参考にして、今後区民の協力や理解を得る中で開催できれば良いと考えます。(富士見小)

・地域の人たち程、ひがみ、ねたみ、悪口、陰口、影日なたがある。傷つきやすい関係の中にある。こういうことを無くし明るい地域づくりのためにサロンが必要かも、表面的にさわりなくそおーとすごすことが一番の平穏、平和が保てる。きれいで大切なことだが、今のところノーサンキュー PS 資料に使われているイラストがかわいい、ほのぼのする。

(南小)

・男性参加が少ないようですので何かアイデアがあったらと思います。(石和町)

・サロン活動の必要性がわかりました。やはり先に立つリーダーが必要だけれど、それが難しいと思います。(南小)

・素晴らしい活動だと思いました。まだまだ課題があると思いますが、今後できるようになれば良いと思います。(富士見)

・サロン運営について行政からのアドバイスや支援が必要であると思った。主体となって動いてくれる人を探すのが大変そう。(富士見)

・身体の不自由な人の参加、予算は十分か(北小)

・もっと直接 WG (ワーキンググループ) などの話し合いがあると思って参加、モデルだけではない。地域の課題をどのように掘り起こすのか、課題だけではなく、これから地域のあるべき姿が落ちないと・・・地域の現状とこれからの姿を住民が気づかなければ、その最初の石を誰が投げるのか。(富士見小)

・高齢者が安心して暮らし支え合うと言いながら子どもクラブ活動に近いのではないか。

(南小)

・区役員等は、会社員が多く平日の昼の活動ができない。(富士見小)

・現在の区の行事だけで精一杯(石和町)

・生活支援体制・サロン等、初めての言葉で参考になりました。各区とも、子どもから高齢者までと言う対象ですが、高齢中心のような印象でした。(富士見小)

・中町の公民館を使ってやってみるじゃんを開催していることは承知していた。また年間のスケジュールが公民館の入口に貼ってあったことを知っている。今年度分の更新がなかったので社協に自分が出向きもらった案内板を公民館の入口に貼りかえた。その後ガラスの中と外で2枚目を張った人がいた。やってみるじゃんだけか知りたい。(交流サロンなど・・・)(南小)

・地域でサロンを開催することよりも各個人がまず、近所の人と近しくなることが大切だと思う。他人に頼るより、自分自身で心を開いていく事が何よりだと思う(北小)

地域福祉に関心がある方

・地域の課題をしっかりとつかむこと。マンパワーを目的、意識的に育てること。(東小)

- ・食改（食生活改善推進員）などで交流会を誘っていても新しく参加してくれる人は少なく、特に男性は参加が少ない。（富士見小）
- ・大勢の参加でよかったですね。一緒に頑張りましょう。（石和町外）
- ・この時間にこれだけの人数が集まったのが本当にすごいと思いました。普段の地域づくりの賜物だと思います。（石和町外）
- ・サロン活動発表が良かったです。（石和町外）
- ・4 地区の発表がとても良かったと思います。ボランティアでやっている自分も地域の人に支えられていると感じます。（東小・住民）
- ・高齢者と子どもさんたちの交流の場が少ない。（おまつりぐらい）（富士見小）
- ・お疲れ様でした。自主的にサロン活動をされている方が多い石和でこれからも活動を続けていって頂きたいと思いました。（石和町以外）
- ・協力者、担い手を作ることが先ずの目標です。（石和町）
- ・中心になって活動する方たちは素晴らしいと思います。地区の役員を引き受けるだけでせいっぱい。ボランティアまでしてくれる人は少ないです。（北小）
- ・多くの区の住民の方への周知の仕方をどうしていくか。その中から多くの担い手を作っていけたら良い。（東小）
- ・高齢者が高齢者を支えることが基本にあり、自分達の活動を手伝える者がサポートしていく。その方向性があればスムーズに始められるのではないかと思った。（西小）
- ・石和町内でサロン活動を行えているのは発表された 4 地区のみですか？また、笛吹市内ではどうでしょうか。お話をきいていてどの地区も老人クラブに+αという形で活動されているようです。また周知が難しいと言うことも老人クラブの会員と言う集客力は不可欠だと思われます。どのサロンも子どもから高齢者が対象者となっていますが平時は高齢者が対象と言うのが普通ですか？子どもクラブの活動に老人クラブが協力するとか・・・もっと広げて子育て中の若い親子への協力とか、サロンのあり方を考えてみたいと思いました。（西小・食改）

保健医療福祉関係者

- ・いつもの事ながらおじゃましました。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・サロンと福祉施設がお互いに協力し合いさらに繋がれるように関わっていきたいです。素敵な発表ありがとうございました。
- ・生活支援体制整備事業って何なのかわからない！自分に何ができるかも分らない。誰が何するの？主体的な活動をするために高齢者が主催したり運営をしたりしなければならない。若手（60代）の参加が難しい。交流やつながりが苦手な感じがする。（東小）
- ・本日はありがとうございます。またよろしく願いいたします。（石和町）
- ・何か起こった時（災害時など）一番必要なのは地元との関わり顔見知りの助け合いだと思います。このような取り組みが、笛吹市全体に広がれば良いのかな？と思いました。（石和町以外）
- ・高齢社会の中で、今後このような活動が日常的になる日は近いと思っています。良い話を聞かせて頂きました。ありがとうございました。（石和町外）
- ・地域のつながりがよくなることは大切だと思います。サロン活動を行っている方はすばらしいなあと思いました。（南小）

所属未記入者

- ・お疲れ様でした。和やかな会でした。たくさんのサロンが地域でできますように一緒に頑張りましょう。
- ・男性の方々の参加状況などが気になりました。男性たちが中心になって活動されることがあったら、多くの地域のヒントにもなるのではないかと思います。
- ・気づいたら知らぬ間に、まさにその通りで、子どもからお年寄りまで楽しくほうとうづくりをした時は、楽しかったです。(東小)
- ・事例の発表会は参考になり有効と感じました。(石和町)